

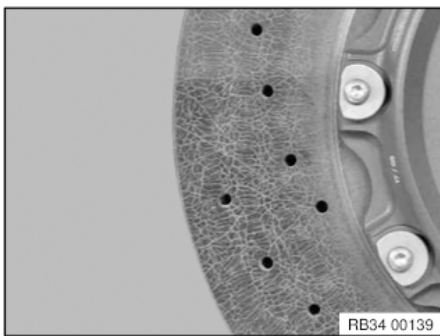
## CFRP セラミック ブレーキディスク (CSiC) の消耗判定

3400... | REP-REP-RAF1034-3400\_CSiC\_VERSCHLEISS - V.9

### 34 00 ... CFRP セラミック ブレーキディスク (CSiC) の消耗判定



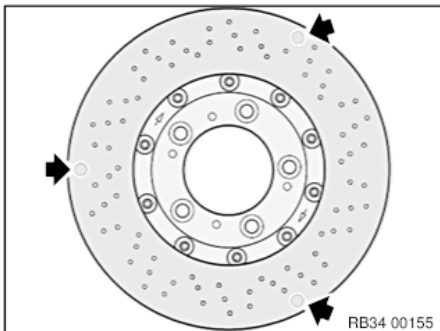
- 損傷判定には以下の図式資料(ブレーキディスク磨耗兆候)を使用すること!



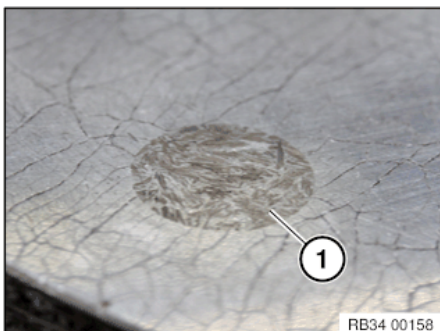
#### ブレーキディスク摩擦面の亀裂(減圧構造)

ブレーキディスク摩擦面の亀裂はねずみ鋳鉄ブレーキディスクの場合と異なることに注意する。これらの亀裂はカーボンセラミックブレーキディスクの場合、磨耗基準の対象ではなく、既に製造時の新品状態でも存在する。

これについては、使用中のCFRP セラミック ブレーキディスクの限度見本カタログを参照のこと!



- ブレーキディスクにはそれぞれ6つの磨耗インジケーター(内側および外側にそれぞれ3つ、矢印を参照)が装備されている。
- 磨耗インジケーターはブレーキディスク外径付近に相互に120°の角度で取り付けられており、これによりその他の摩擦面における異なる表面構造や色相を認識することができる。
- 磨耗インジケーターの大きさは約2 cm<sup>2</sup>である。



ブレーキディスクを使用中、磨耗インジケーター(1)の表面構造が変化する。この表面構造の変化により、ブレーキディスクの磨耗状態を判断することができる。

図：新品同様のブレーキディスク

図：使用済みのブレーキディスク

磨耗インジケーター(各摩擦側に3個)は、消耗に関する最初の基準点を示すものにすぎない(最初の判断)。

このため、偏った走行パターン(例 競争コース、短距離走行)に関連して、インジケーターの表示精度が異なる場合がある。

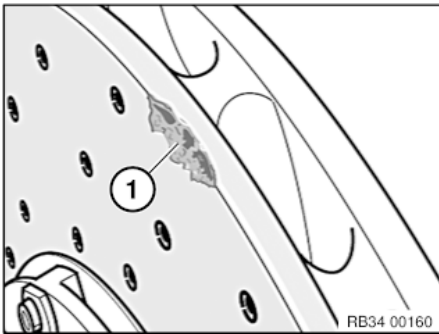


ブレーキ ディスクは温度や空気中の酸素の影響を受け、走行パターンに応じて主に支持体周辺で約 200g まで重量を失う。この材料特有の重量減少は、清掃した個々のブレーキ ディスクの重さを量ることで算出することができる。許容最低重量は、ブレーキディスクハブ上に継続して書き留められる。

**注意！**

CSICブレーキ ディスクの消耗によって新品に交換する判断基準となるのは常に、最低重量に達することである (その他の損傷は対象外)!

いずれそのうち交換する場合、リペア マニュアル 34 11 220 を遵守すること!



エッジの損傷については『使用中のCFRP セラミック ブレーキディスク判定用の限度見本カタログ』を参照のこと